

## 平成 25 年度 第 1 回福島町まちづくり推進会議結果報告書

開催日時：平成 25 年 9 月 2 日 午後 6 時から午後 7 時 30 分

場 所：福島町役場 2 階健康づくり研修室

【出席者 12 名】阿部国雄、木村末正、中塚徹朗、澤田寿伸、河原塚利雄  
菊池謹一、木村互哉、山辺篤、戸島俊一、常磐井武典  
金澤富士子、山名連

【欠席者 4 名】平沼竜平、管藤光男、吉田有志、金谷由美子

【町出席者 5 名】佐藤町長、中島総務課長、住吉課長補佐、村田係長、中塚主任

会議については、下記の会議次第のとおり実施したことを報告します。

1. 委 嘱 状 ～ 佐藤町長から出席者に委嘱状を交付。  
※欠席者には、後日、会議結果報告書とともに送付。
2. 町 長 挨 拶
3. 会長及び副会長の選任 ～ 会 長 中塚徹朗委員 に決定。  
副会長 山名連委員 に決定。
4. 専門部会の設置 ～ 資料に記載している内容で部会設置については、異議が無いことから、資料のとおり決定。  
部会長・副部会長については、下記のとおり決定。  
  
○総務教育部会 部 会 長 木村末正委員  
〃 副部会長 常磐井武典委員  
  
○経済福祉部会 部 会 長 阿部国雄委員  
〃 副部会長 河原塚利雄委員
5. 行政評価について ～ 会議資料 3 ページ～ 4 ページの説明に基づき、別添評価シートにより各事務事業の外部評価を実施。

- 評価の方法については、担当課評価がBのものが2次評価でAとなったもののほか、資料を事前配布しているので特に確認が必要な事項があれば、審議を実施した方が良いと委員意見あり。  
審議する事務事業については、教育委員会で実施した事務事業（行政評価結果表 整理番号 25～30）を除き、委員から意見があった事務事業を審議した。  
なお、審議の必要が無い事務事業については、2次評価のとおりとする。

- 担当課評価がBで2次評価がAの事務事業

- ①情報公開費（資料3ページ～4ページ）

- 委員審議内容 ～ 【結果】現状に満足することなく今まで以上に進めていくと記載もしているのでAの評価とする。

- 委員から意見のあった事務事業

- ①車両管理費（資料7ページ～8ページ）

- 委員審議内容 ～ 【質問1】

- 職員数と車両台数を比較した場合に多く感じる。

- 各関係団体から車両の贈呈もあると思うが新しい車両が配置された時に古い車両を減らしていないのではないか？

- 車両の保有台数が多くなれば、その分維持費も上がる。可能であれば減らすことも考えてもらいたい。

- 【回答2】

- 車両の使用については、町のシステムで設備管理しており、現在は、各課に1台という配置の仕方ではなく、空いている場合は、誰でも使用できるような形で運用している。また、出張等で町外に出る場合にも行先が同じ場合は、一緒に乗り合わせする方法も行っている。

- 質問の内容について、新しい車両が入ってきた場合に、配置を行うべき場所に配置がされていない現状があったので古い車両を配置して管理をしている。

- 上記の説明のように車両管理費としては、事業費が多くなっているが、公用車による出張による旅費の削減が出来る。

【結果】今後の課題として、削減できるよう努力してもらうこととし、A評価とする。

②バス待合所管理費 (資料 13 ページ～14 ページ)

委員審議内容 ～

【質問 1】

町内会で負担しているバス待合所もあるのだが、これは、どの部分の管理になるか確認したい。

【回答】

該当するバス待合所については、福島・吉岡・白符・高校前・千軒の管理費であり、町が建設したバス待合所となっております。その他のバス停については、規模が小さいバス停については、以前研修による作成したことや青函トンネル前のバス停は業者による提供であり、管理については、その町内会で管理を行ってもらうこととしている。

【結果】観光にも影響してくる内容であり、清潔に管理を行ってもらうことに努めてもらうこととし、A評価とする。

③産学官連携産業活性化事業 (資料 17 ページ～18 ページ)

委員審議内容 ～

【質問 1】

委託先はどこなのか？

どのような成果があるか？

その内容をどのように評価しているか？

【回答】

当該事業は、包括連携を行っている東京農業大学生物産業学部、漁業協同組合と町と公立はこだて未来大学の事業である。

効果としては、産業活性化ビジョンの策定やマナマコの資源管理の手法、小中高生に対しての出前講座や起業を目指す方への出前講座も昨年実施している。

【結果】特に問題ないことで、A評価とする。

④観光振興費（資料 39 ページ～40 ページ）

委員審議内容 ～ 【質問 1】

マスコットキャラクターは解るが、食と体験を生かした観光プラン開発とは何か行っているのか？

【回答 1】

昨年 11 月に体験観光振興協議会を設置し、①道の駅 ②食、③体験観光と 3 つワーキング部会を設け、現在進行で検討中である。まだ検討中であることから、具体的な内容については、今後、示されることで理解していただきたい。

【質問 2】

活動指標の観光客数については、根拠数値はどこのものか？

【回答 2】

担当課調べによる町内の全ての観光施設の数値である。

【意見】

観光客数値について、どのような施設・イベントでどれだけの観光客が来たのか解りやすいようにしてもらいたい。

【結果】観光振興策として費用は有効に使われているため A 評価 であるが、更なる観光客の増加対策に期待する。

⑤横綱記念館管理運営費（資料 41 ページ～42 ページ）

委員審議内容 ～ 【結果】横綱の里として推進する事業であり、特に問題が無いことから A 評価 とする。

※その他の事業については、A 評価 とする。

6. その他 ～ 平成 25 年 2 月 12 日の平成 24 年第 2 回まちづくり推進会議で検証した「福島町まちづくり基本条例」について、議会の総務教育常任委員会で、5 月 31 日及び 7 月 30 日で調査を実施した。

議会意見は、推進会議同様、条例本文の改正は必要なし。条例運用にあっては、各課等で更に改善等があれば、積極的に改善を進めるべき、また町長はじめ職員間の連携を強めながら、行政推進を図ること等の意見があった事を検証一覧表を配布し説明した。

閉会